

# 自販機で被害者支援

## うるま市 売上金一部寄付 「ミリオン」

【うるま】事件・事故の被害者を支援する沖縄被害者支援ゆいセンター（與儀弘子理事長）の運営を支えようと、県内各地で自動販売機を設置している「ミリオン」（平川良夫社長）は25日、売り上げの一部を寄付する協定を同センターと結んだ。当面は、県警本部や那覇署などに設置している11台の自動販売機の売り上げの一部を寄付する。

## 県内2000台で実施へ



㊦自動販売機の売り上げの一部を犯罪被害者の支援に充てる協定を結んだ與儀理事長（中央）とミリオンの平川社長（右）、平川本部長＝うるま市昆布  
㊧ミリオン社が検討している犯罪被害者支援の自動販売機に張るステッカー

市昆布の同社で行われた協定締結式で平川社長は「まずはですが、今後も困っている人を支援するため、対象の自動販売機を広げていきたい」と話した。  
2月以降は県内に設置している約2000台の自動販売機に「えがおの種」というステッカーを張り、支援を拡大することも検討しているとい

う。  
同社市場開発課の平川隆行本部長は「東京の八王子市や川崎市にも営業所があるので、対象を拡大していきたい。県外の県出身経営者の中には、沖縄のために寄付をしたいという人もいますので、規模の拡大は十分可能だと思

う」と述べた。  
與儀理事長は「被害者を社会全体で支え、力になれるよう取り組んでいる。ご厚情をいただき大変ありがたい」と礼を述べた。  
同センターへの問い合わせは、電話098（951）2408。